

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ジャパンカップではアーモンドアイが有終のV

11月29日(日)に行われたジャパンカップ(G I)では、史上初めて“三冠馬”3頭の対決が実現。本年のクラシック三冠を無敗のまま制したコントレイルを2着に、同じく無敗で牝馬三冠を達成したデアリングタクトを3着に破って、2018年の牝馬三冠馬アーモンドアイ(牝5歳/美浦・国枝栄厩舎)が1着、引退レースを勝利で飾りました。アーモンドアイはJRAのG I・8勝目で、これはキタサンブラックらの7勝を上回る歴代最多勝。またJRAの競走での獲得賞金15億1956万3000円は、キタサンブラック、テイムオペラオーに次ぐ歴代3位、JRA以外の競走も含めた19億1526万3900円は、キタサンブラックの18億7684万3000円を抜いて歴代1位となりました。

### ●ミスターメロディ、ファッションスタらの競走馬登録抹消

2019年高松宮記念(G I)などの勝ち馬ミスターメロディ(牡5歳/栗東・藤原英昭厩舎/JRA通算15戦4勝・地方2戦0勝)、2020年JBCレディスクラシック(大井・Jpn I)などの勝ち馬ファッションスタ(牝6歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算16戦5勝・地方6戦3勝)のほか、2018年サンケイスポーツ賞フローラS(G II)の勝ち馬サトノワルキューレ(牝5歳/栗東・角居勝彦厩舎/JRA通算17戦3勝)、2018年京王杯スプリングC(G II)の勝ち馬ムーンクエイク(騾7歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算21戦6勝)、2019年アイルランドトロフィー府中牝馬S(G II)の勝ち馬スカーレットカラー(牝5歳/栗東・高橋亮厩舎/JRA通算22戦3勝)、2017年中日新聞杯(G III)の勝ち馬メートルダール(牡7歳/美浦・戸田博文厩舎/JRA通算28戦6勝)は、12月2日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ミスターメロディは北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となり、ファッションスタは北海道日高町のダーレー・ジャパン・ファーム、サトノワルキューレは北海道日高町の下河辺牧場、スカーレットカラーは北海道新冠町のノースヒルズで繁殖馬となる予定。ムーンクエイクは地方競馬に移籍し、メートルダールは埼玉県東松山市のウィルスタッドで乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●デュアリストが無敗のまま兵庫ジュニアグランプリ(園田)を制覇

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、12月2日、園田、1400m)は、先手を取ったデュアリスト(福永祐一騎手、牡、父ミッキークイール)がレディバグの追撃を半馬身差で凌ぎ、単勝1.9倍の支持に応えてデビュー以来の連勝を3に伸ばしました。2番人気のゼンノアンジュは更に4馬身遅れの3着、3番人気のルーチェードーロは4着、ピーアイフェリベは7着に敗れています。

### ●クイーン賞(船橋)でサルサディオオーネが逃げ切りJpn III 2勝目

クイーン賞(Jpn III、12月3日、船橋、1800m)は、逃げた3番人気の大井所属馬サルサディオオーネ(矢野貴之騎手、牝6歳、父ゴールドアリュール)が1番人気のアッシュエンブッテルに2馬身半差を付け、マリーンCに続くJpn III制覇。2番人気のメモリーコウは5着、シネマソングスは7着でした。なお、パールデューは鼻出血を発症し、競走を中止しています。

### ●ローレル賞は無敗のケラススヴィア【各地の主要2歳重賞】

ローレル賞(11月10日、川崎、1600m、牝馬)は、4番手から差を詰めた3番人気のケラススヴィア(父サウスヴィグラス)が残り50mで差し切り、デビュー以来の連勝を3に伸ばしました。

### ●12月10日の名古屋グランプリにマスターフェンサーらが参戦

名古屋グランプリ(Jpn II、12月10日、名古屋、2500m)は、マスターフェンサーが中心、以下ロードゴラッソ、サウンドトゥルー(船橋)、サクラアリュール、ミツバ、ダイシンインディーの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1クラークS~ボーディエクスプレスがG1初制覇

11月27日に米国ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG1クラークS(3歳上、ダート1800m)はR.ベハラーノ騎手を背に2、3番手で流れに乗ったボーディエクスプレス(牡4歳、父ボードマイスター、G.デルガド厩舎)が、昨年G1トラヴァーズSの勝ち馬コードオブオナーの追い上げを1馬身差退けて優勝しました。G1初制覇を果たしたボーディエクスプレスは昨年3月のG1フロリダダービーで2着に入って、G1ケンタッキーダービーに出走しましたが13着。G1プリークネスSはスタート直後に騎手を振り落として競走中止でした。今年は5連敗となっていました。前走10月の一般戦を11馬身差で圧勝していました。

### ●G1ハリウッドダービー~ドメスティックスペンディングが優勝

米国カリフォルニア州のデルマー競馬場で11月28日に行われた、G1ハリウッドダービー(3歳、芝1800m)はI.オルティスJr.騎手が手綱を取ったドメスティックスペンディング(騾、父キングマン、C.ブラウン厩舎)が追い込んでG1初制覇を果たしました。ドメスティックスペンディングは8月のサラトガダービー招待S(芝1900m)に続く連勝です。